

第6期 pES club シナリオ 2

平成 19 年 3 月 4 日
虎の門病院分院 内科総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

あなたは名羅手部総合病院内科の3年目後期研修医です。初診外来を担当するようになり、もうすぐ1年になります。

ある日、茅野勉さん（65歳男性）が老人健康診断で異常を指摘されたとのことでああなたの初診外来を受診しました。

あなた「茅野さんは、健康診断で便に血が混じっているという結果が出たんですね？」

茅野さん「そう、65になったら初めて市から健康診断のはがきが送られてきてね、それで受けたら検便の検査が陽性だって。それで精密検査を受けるように言われたんだよ」

あなた「そうですか。便に血が混じっているというのは、腸から血が出ていることを表しています。腸から血が出る原因で一番多いのは痔で、次に大腸のポリープ、そして憩室です。ほとんどこの3つのどれかですが、中には大腸癌が原因のこともあります。」

茅野さん「ああ、大腸癌ね。．．．うちは、親父が大腸癌だったからね。．．．それで、精密検査って？」

あなた「大腸内視鏡、つまり大腸のカメラです」

茅野さん「カメラか。．．．それこの間うちのがやって、すごく大変な思いをしたんだ。検査自体も痛かったらしいんだけど、その前に飲む下剤が苦くて量も多くて、もう2度とやらないって言っていたよ。だから、ちょっと抵抗あるねえ。．．．そういえば、このあいだ新聞に、カメラの代わりにCTで癌が見つけれらるって書いてあったけど、あれじゃダメなの？」

あなた「CTコロノグラフィーのことですね。あまりうちではやらないんですけど、ちょっと調べてみますね」

あなたは、CTコロノグラフィーが、大腸内視鏡の代わりになるか、検索してみることにしました。

第6期 pES club シナリオ 2 (追加シナリオ)

平成19年3月4日
虎の門病院分院 内科総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

茅野さんは普段から便秘気味とのことで、便が堅く3日に1回の頻度でしか出ないそうです。また、排便時には肛門に痛みを生じることがありますが、出血に気付いたことはないそうです。

初診時に行った直腸診では、圧痛を伴わないやや大きめの前立腺を触れた以外には、特に腫瘍などは触れませんでした。

茅野さん「カメラとCTと．．．他には検査ないの？」

あなた「あとは、大腸の検査といえば、バリウムの検査もありますが．．．」

茅野さん「それはどうなの？バリウムって昔からよく聞くけど」

あなた「最近ではあまりやらないようですよ。でも、バリウムの方がいいですか？」

茅野さん「そうねえ．．．楽なんだったら、そっちの方がいいかなあ」

あなた「ところで、茅野さんは、何か病気にかかっていますか？」

茅野「え？病気？？別にどこも悪くないですけど！」

茅野さんは普段からバランスの良い食生活を心がけていて、特に偏食もありません。運動はあまりしないようです。

抗生物質、鎮痛薬、抗血小板薬、抗凝固薬をふくめて、現在服用している薬剤は特にありません。急激な体重減少はありません。